

平成20年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系)
平成21年7月9日(学術総合センター)

ROAT[®]

Repository Output Assessment Tool
機関リポジリアウトプット評価システム

機関リポジトリ評価のための基盤構築に向けて

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 学術機関リポジトリ構築連携支援事業
「機関リポジトリ評価のための基盤構築」プロジェクト

代表機関: 千葉大学 roat@LL.chiba-u.ac.jp

連携機関: 北海道大学, 東北大学, 金沢大学, 大阪大学

ROATプロジェクト

- 機関リポジトリのアクセス・ログに対して一定の基準による処理を行い、標準的なアウトプット指標が出力できる環境の構築
- アウトプット指標を基にした機関リポジトリの評価を各機関が自主的かつ簡便に行える環境の構築
- アウトプット評価の実現に向けた、機関リポジトリ構築のためのガイドラインの策定

ROATの意義

- コンテンツ数などの「インプット」中心の評価は大規模機関の評価が高くなりがち
- コンテンツ数が少なくても利用され「アウトプット」しているリポジトリは有用
- 「利用されている」というのはプロモーションの絶好の素材
- 利用傾向による収集方針の再検討

ROATの必要性

- 生のアクセス・ログには Google や Yahoo! などの多くの巡回アクセスが含まれる
- ダブルクリックなどによる重複アクセスも多い
- アクセス・ログの分析ソフトウェアを変えると分析結果も変わる

ROATが作る世界

- 統一的な基準でアクセス・ログを処理することによるアウトプット指標の標準化
- 各機関でインストールを必要としない ASP 的なプログラムによる自主的かつ簡便なアウトプット指標の取得

ROATの今後

- プログラムの制約で生じたログ分析の空白期間への対応
- アップロード済ログ・ファイルの一覧機能の追加
- 書誌表示の機能の補足

... ほか

ROAT パートナー

岩手大学，筑波大学，東京工業大学，一橋大学，信州大学，名古屋大学，三重大学，京都大学，神戸大学，広島大学，山口大学，九州大学，長崎大学，宮崎大学，慶應義塾大学

(連携機関)

北海道大学，東北大学，金沢大学，大阪大学

ROAT[®]

新パートナー大募集！

お問合せは roat@LL.chiba-u.ac.jp まで